

令和元年度事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I 当法人の概況

1 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9人以上13人以内（会長、副会長及び専務理事を含む）

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤10人、計11人

監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(令和2年3月31日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会 長	竹谷 千里	R1.6.18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道大学 監事
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学 学長
理 事	五十嵐邦春	〃	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	谷垣 徳篤	〃	〃	〃	北海道PTA連合会 事務局長
〃	猪股 大輔	〃	〃	〃	北海道青年団体協議会 会長
〃	横島 義人	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 総務部長
〃	杉本 和弘	〃	〃	〃	北海道新聞社編集局 くらし報道部長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	清水 和夫	R1. 6.18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	札幌市北区青少年 育成委員会連絡協議会 議長
〃	山田 園子	〃	〃	〃	新得町子ども会
〃	荒木関 栄	〃	〃	〃	旭川市青少年育成部 連絡協議会 会長
専務理事	濱口登代喜	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	西村 俊二	H29. 6.20～ 令和3年度定時評議員 会終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒元 辰也	〃	〃	〃	北海道歴史文化財団 専務理事

(2) 評議員に関する事項

定数 9人以上13人以内

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会
の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤11人、計11人

(令和2年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	平野 雅嗣	H30. 6.21～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	吉田 信興	R1. 6.18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道小学校長会 事務局幹事
〃	吉澤 政昭	H29. 6.20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道市長会 事務局長
〃	山内 康弘	〃	〃	〃	北海道町村会 事務局長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	木村 謙治	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長
〃	扇間 康弘	〃	〃	〃	日本ボーイスカウト 北海道連盟 副理事長
〃	中川 淳二	H30. 6. 21～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 副会長
〃	菅原 光宏	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長
〃	高橋 直樹	R1. 6. 18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道農業協同組合中央会 協同活動推進室長
〃	多田 好宏	〃	〃	〃	北海道介護支援専門員協会 事務局次長

2 賛助会員に関する事項

(令和2年3月31日現在)

種類	前年度末	当年度末	増減
普通賛助会員 個人	59 人	54 人	-5 人
普通賛助会員 青少年関係団体	51 団体	51 団体	0 団体
特別賛助会員	148 団体	148 団体	0 団体
合計	258 人・団体	253 人・団体	-5 人・団体

3 職員に関する事項

現在数 5名

(令和2年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	遠藤 善彦	常 勤
主 任	竹本 郁子	〃
主 任	福田 拓哉	〃
専門指導員	杉山 健	〃
嘱 託	工藤 かおり	〃

II 事業に関する事項

1 令和元年度事業の実施状況

別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和元年5月30日	① 平成30年度事業報告について ② 平成30年度収支決算について（監査報告） ③ 評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認
令和元年6月18日 （決議の省略）	① 会長の再任について ② 副会長の再任について ③ 専務理事の再任について	承認 承認 承認
令和元年7月31日 （決議の省略）	① 令和元年度予算の補正について	承認
令和2年3月19日 （決議の省略）	① 令和2年度活動方針及び事業計画（案）について ② 令和2年度予算（案）について ③ 資金調達及び設備投資の見込みについて ④ 令和2年度資金管理運用執行方針及び計画（案）について	承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和元年6月18日	① 平成30年度収支決算について（監査報告） ② 理事の改選について ③ 評議員の補充選任について	承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
令和元年 8 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について 令和元年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について 令和元年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について
令和元年 10 月 1 日 (書面委員会)	令和元年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について (追加決定)
令和 2 年 2 月 10 日 (書面委員会)	令和元年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について (追加決定)

3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
令和元年 6 月 18 日	平成 30 年度事業状況報告等の提出
令和元年 7 月 9 日	理事・評議員変更の届出
令和 2 年 3 月 26 日	令和 2 年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
平成 31 年 4 月 16 日	平成 30 年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にありません。

Ⅱ－１．令和元年度事業の実施状況

近年、青少年の育成を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、有害情報の氾濫と少年の被害、ニートなど若者の社会的自立の遅れ、少年による重大事件の発生など、憂慮すべき様々な問題が生じており、行政や関係団体、企業、NPOなど様々な立場からの連携した取り組みが求められております。

このため、当協会は、令和元年度においても北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、青少年の健全育成のため、各般の事業の推進に努めました。

令和元年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

事業名	事業の概要	備考
1. 青少年育成住民運動促進事業	運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の配置	<p> ■定員 238人 《内訳》 (総合)振興局(青少年指導員)、教育局(社会教育主事) (総合)振興局管内(青年代表)各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人 </p> <p> ■活動 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成運動(地域行事・活動に参加) ・地域団体等の事業を実施 ・非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど) ・行政との連携(市町村行事等に参加) ・当協会の事業推進(地域住民に情報提供など) </p>	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道との共催)	<p> 全道14箇所(各(総合)振興局)で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。 </p> <p> ■日時 令和元年5月7日(火)～6月24日(月) </p> <p> ■会場 各(総合)振興局単位(14会場) </p> <p> ■対象 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成運動推進指導員 ・市町村青少年行政担当者 ・青少年育成市町村民会議関係者 </p> <p> ■参加者 377名(総計) </p> <p> ■内容 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度青少年育成施策の推進について ・少年非行の概況について ・令和元年度活動方針及び事業計画について ・意見交換 </p>	
(3) 市町村民会議等の連携強化	<p> 地域における運動の中核である青少年育成市町村民会議(68市町村設置)の活動状況調査を実施し活動内容を把握したほか、市町村民会議等への啓発資材の配付や機関誌等による情報提供を行い、地域の連携の強化や運動の支援を図った </p>	

事業名	事業の概要	備考
(3) 市町村民会議等の連携強化	<p>■活動状況調査の実施及び活動内容の紹介 平成30年度の活動状況調査を実施し、活動内容を取りまとめ当協会ホームページに活動内容を掲載したほか、当協会機関誌において、次の市町村民会議の活動内容を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新十津川町青少年健全育成町民会議 ・共和町青少年育成協会 	
(4) 青少年問題を考える地域懇話会の開催	<p>青少年に関する諸問題について学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催により、前年度と同様2回開催した。地元関係者の参加により、地域の現状や課題解決の方策等について、活発な意見交換が行われた。</p> <p>大樹町開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時 令和元年11月19日(火) ■場所 大樹町生涯学習センター ■共催 大樹町青少年健全育成推進町民の会 ■後援 大樹町教育委員会 ■テーマ 「若者(青少年)が自ら考えて行動する地域づくり」 ■参加者 地元青少年育成関係者 43名 ■内容 <ul style="list-style-type: none"> ・講話題：「若者(青少年)が自ら考えて行動する 地域づくり」 話題提供：NPO法人 ezo rock 代表理事 草野 竹史 ・意見交流テーマ：「若者(青少年)の主体的な活動を 促すために」 コーディネーター：北海道教育庁十勝教育局教育支援課 社会教育指導班主査 佐々木直人 <p>枝幸町開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時 令和元年11月22日(金) ■場所 枝幸町中央コミュニティーセンター ■共催 枝幸町青少年育成ネットワーク ■後援 枝幸町教育委員会 ■テーマ 「地域全体で子育てを支援する体制づくり」 ■参加者 地元青少年育成関係者 21名 ■内容 <ul style="list-style-type: none"> ・講話題：「子供たちへの食支援活動を通じて 見えてきたこと」 話題提供：藤女子大学人間生活学部 食物栄養学科准教授 隈元 晴子 ・意見交流テーマ：「地域で考え、行動する子育て支援の あり方」 コーディネーター：枝幸町教育委員会社会教育グループ 社会教育主事 齋藤 巧 	

事業名	事業の概要	備考
2. 青少年を育成する環境づくり推進事業	青少年の健全な育成について、社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や青少年育成運動活性化研究協議会など関連事業を開催し、青少年問題についての共通理解を深めた。	
(1) 北海道青少年育成大会の開催 (北海道、国立青少年教育振興機構との共催)	地域で活動している全道の青少年育成関係者が一堂に会し、青少年育成運動功労者の顕彰や各表彰式、また、基調講演や「少年の主張」全道大会を行い、本道における青少年育成活動の一層の推進をアピールすることができた。 ■日時 令和元年9月5日(木) ■場所 道民活動センター(かでの2・7)ホール ■参加者 青少年育成関係者 450名 ■内容 ・開会(主催者挨拶) ・来賓祝辞 ・令和元年度北海道社会貢献賞表彰式 ・令和元年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 ・令和元年度「少年の主張」全道大会発表、表彰 (札幌市及び14(総合)振興局地区代表): 16人 《最優秀賞》 受賞者:(胆振代表)登別明日中等教育学校3年 小路 藍花 テーマ:「命をいただく」ということ ・基調講演 演題:「つながりの牢獄 —青少年の人間関係をめぐる現状と課題—」 講師:土井 隆義 (筑波大学人文社会系教授)	
(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催	青少年育成運動推進指導員のほか、道内各地の青少年育成関係者やボランティアを対象として、子供・若者育成支援の現状や課題、今後の支援や対策等について知識を深めるため、基調講演や各テーマを設けた分科会で、研究協議や意見交換等を行い、今後の子供・若者育成支援や青少年育成運動についての共通理解を深めた。 ■日時 令和元年11月8日(金) ■場所 道民活動センター(かでの2・7)大会議室ほか ■参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体関係者、各振興局・市町村行政関係職員 青少年補導員、更生保護関係者等 174名 ■内容 ・基調講演 演題:「社会的ひきこもりを考える —本人・家族の気持ちと社会環境—」 講師:精神科医・こころのリカバリー総合支援センター 所長 阿部 幸弘	

事業名	事業の概要	備考
(2) 青少年育成運動 活性化研究協議会 の開催	<p>第1分科会 テーマ：「道内で実践している地域活動の共有」 ～家庭・学校・地域との関わり方～(ワールドカフェ) ファシリテーター：北海道教育庁生涯学習推進局 生涯学習課主査 一ノ関太郎</p> <p>第2分科会 テーマ：「子どもと家族の孤立を防ぐために」 ～ひきこもりの現状・課題・支援策～ 話題提供者：NPO法人ジェルメ・まるしえ 理事長 新田 大志 コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 加藤 雅司</p> <p>第3分科会 テーマ：「子ども達とスマホ・ネットとの関わり方」 ～ネット空間における犯罪・被害の未然防止～ 話題提供者：北海道警察本部生活安全部少年課 課長補佐 大川 善照 コーディネーター：北海道教育庁胆振教育局教育支援課 社会教育指導班主査 永堀 善之</p>	
(3) 明るい家庭 づくり道民運動 の推進	<p>本運動をより一層推進するために制定した「道民家庭の日」(毎月第3日曜日)の取組が20年目を迎えたことから、各種関連事業を活用し、より一層の運動の推進に努めた。</p> <p>広報啓発活動では、「道民家庭の日」イメージキャラクター(ほーほーくん)を活用し、民間企業や関係機関等が主催する各種イベントに参加するなど普及活動を行ったほか「道民家庭の日」啓発資料(資材)を市町村等の関係機関・団体に作成配付し、普及啓発を図った。</p> <p>また、各種啓発活動を通じ「家族ふれあい優待制度」協賛店・施設の拡大に努めたほか、「道民家庭の日」絵画コンクールを実施し、全道の小・中学生や道民への応募の呼びかけや、道庁ロビーや札幌駅前通地下広場等における入賞作品展の開催により、「道民家庭の日」の普及啓発に努めた。</p> <p>①「道民家庭の日」普及促進に伴う各種イベントへの参加等 ■日本生命「みんなの2020全国キャラバン」(北海道) ・日 時 令和元年5月18日(土)～19日(日) ・場 所 札幌駅前通地下歩行空間(北3条広場) ・内 容 「道民家庭の日」工作体験、じゃんけん大会等</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<p>■「木育フェア」 in アリオ札幌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年7月31日(水)～8月1日(木) ・場所 アリオ札幌 1階 ハーベストコート ・内容 「道民家庭の日」工作広場、じゃんけん対決等 <p>■第12回北海道のうまいもの見～つけた！ in アリオ札幌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年11月2日(土) ・場所 アリオ札幌 1階 ハーベストコート (イトーヨーカドーと道が主催) ・内容 自画撮り被害の啓発活動、写真撮影、啓発物配布等 <p>■「道政広報イベント」レバンガ北海道ホームゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和2年2月16日(日) ・場所 北海きたえーる ・内容 Mini フリースローチャレンジ、写真撮影、啓発物配布等 <p>②「道民家庭の日」街頭啓発活動（道、道警、道教委と共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 平成31年4月～令和2年3月 ※8月・3月中止 (月1回/延べ10回) ・実施場所 札幌駅西口コンコース ・配付資材「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット 総計 6,000個 <p>③「道民家庭の日」啓発資料等の作成・配付等</p> <p>各市町村や全道の小中学校、児童館、関係機関・団体などに配付したほか、各種事業やイベント等で活用し啓発に努めた。</p> <p style="font-size: 2em;">⎵</p> <p>啓発リーフレット(70,000部)、カレンダー(3,500部)、ポケットティッシュ(27,000個)、メモ帳(3,000部)、自由帳(3,000部)、クリアファイル(5,000枚)、手提げ袋(3,000枚)、ゴム風船(2,000個)など</p> <p>④家族ふれあい優待制度の普及促進</p> <p>各振興局や市町村、推進指導員に情報提供や協力依頼をしたほか、民間企業等が主催する各種イベントへの参加や啓発活動において協賛協力等のPR活動に努めた。</p> <p>《協賛店・施設》</p> <p style="font-size: 2em;">⎵</p> <p>ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、スーパー・商店、キャンプ場など 計 340ヶ所(前年度540ヶ所)</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<p>⑤「道民家庭の日」絵画コンクール2019の実施 全道の小・中学校児童生徒の応募原画の中から審査により入選作品を決定し表彰するとともに、入賞作品展を開催した。 (応募総数：58校／314点)</p> <p>□最優秀賞 2点(賞状、盾)</p> <p>小学生の部 受賞者：乙部町立明和小学校5年 近藤 彩乃 題名：「むずかしかった初めてのイカさし」</p> <p>中学生の部 受賞者：美幌町立美幌中学校2年 吉田美咲季 題名：「私の宝物」</p> <p>(以下、部門毎に入選作品を決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別賞 各 1点(賞状、盾) ・優秀賞 各 2点(賞状、盾) ・優良賞 各 6点(賞状、盾) ・佳作 各24点(賞状) ・学校賞 5校(賞状) <p>■絵画コンクール入賞作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道庁1階「道民ホールA」(入場者数：200名) (令和元年 11月14日～15日) ・札幌駅前通地下広場 (入場者数：248名) (令和2年 1月15日) ・各総合振興局・振興局庁舎等 (令和元年12月 9日～15日／オホーツク・美幌町) (令和元年12月17日～20日／根室振興局庁舎) (令和2年 1月 6日～ 8日／檜山振興局庁舎) (令和2年 2月10日～14日／渡島合同庁舎) (令和2年 2月18日～21日／宗谷総合振興局庁舎) (令和2年 3月 2日～ 6日／十勝総合振興局庁舎) 	
<p>(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進</p>	<p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(国)、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」(道)、11月の「子供・若者育成支援強調月間」(国)の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。</p> <p>①関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施</p> <p>「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発活動</p> <p>■共 催 公益財団法人北海道暴力追放センター</p> <p>■日 時 令和元年7月～8月 (3日間／延べ3回) 令和元年 12月 (4日間／延べ4回)</p>	

事業名	事業の概要	備考
(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>■実施場所 地下鉄駅前等(札幌市内)</p> <p>■配付資材 「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット、メモ帳 総計 700個</p> <p>また、7月の強調月間での街頭啓発等に係る啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。</p> <p>■配付部数 ポケットティッシュ 計 13,500個</p> <p>②麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会ホームページで周知を図った。</p> <p>③未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関するサイトを設け啓発したほか、未成年者喫煙防止対策推進協議会に出席し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。</p> <p>■日 時 令和元年11月21日(木)</p> <p>■場 所 かでる2・7 3階310会議室</p> <p>④有害情報から青少年を守る活動の推進 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会などの一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。</p>	
(5) 「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	<p>啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の周知に努めた。</p> <p>(配付部数) 「大人が変われば、子どもも変わる」啓発パンフレット 3,000部</p>	
(6) 「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<p>①「北海道青少年のための200冊」普及事業 北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会、各出版社の協力を得て、青少年の読書普及の一環として「北海道青少年のための200冊」(令和元年度版は、41冊を更新)を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成し、全道の幼稚園や小・中・高の学校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。</p> <p>(配付部数) ・令和元年度図書目録 12,000部 ・令和元年度新選図書目録 11,000部 ・200冊啓発ポスター 2,900部</p> <p>(協賛出版社) 46社</p>	

事業名	事業の概要	備考
(6)「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<p>②第31回読書感想画中央コンクール・第6回全道コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により対象図書として活用された。</p> <p>③第65回青少年読書感想文全道コンクール・第45回北海道指定図書読書感想文コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により、「協会長賞(2名)」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。</p>	
(7) 青少年育成関係団体懇談会の開催	<p>青少年育成関係団体・機関が一堂に会し、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行ったほか、話題提供により、ひきこもり・生活困窮等の現状や支援等を把握し、共通認識を深めた。</p> <p>■日時 令和2年2月6日(木)</p> <p>■場所 かでる2・7 5階 510会議室</p> <p>■参加団体 10団体・4機関</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題提供 演題：「ひきこもり・生活困窮等の社会的孤立を抱える方の現状・課題・支援等」について 説明：NPO法人コミュニティワーク研究実践センター 理事長 穴澤 義晴 ・各団体活動状況報告、意見交換等 	
(8) 広報啓発活動の推進	<p>①啓発資材の作成・配布 「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品14点による2020年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。 (配付部数) 2020年カレンダー 3,500部</p> <p>②協会機関誌の発行 協会の事業報告や関係機関の関連記事など、青少年育成運動の推進に対する理解と関心を高めるため、機関誌を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。 (配付部数) 協会機関誌「育む」 (各回) 2,500部</p> <p>③講師派遣の実施 各振興局、市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。 (派遣回数 6回/総参加者106名)</p> <p>■派遣場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高町青少年問題協議会 (日高町/参加者23名) ・後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会 (倶知安町/参加者10名) 	

事業名	事業の概要	備考
(8) 広報啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路管内北海道青少年育成運動推進指導員及び行政担当者合同研修会 (弟子屈町／参加者14名) ・十勝青少年育成推進指導員研修会(豊頃町／参加者14名) ・美幌町青少年育成指導員等研修会(美幌町／参加者28名) ・南空知広域補導連絡会情報交換会(三笠市／参加者17名) <p>④ホームページ・SNSの活用 インターネットの特性を活かした、ホームページにおいて、大会や研究協議会の開催予告及び結果、絵画コンクール作品募集等の記事や出版物の電子版を掲載したほか、SNS(フェイスブック)を活用し、若年層等への情報発信に努めた。</p> <p>⑤講演録集の作成・配布 青少年問題についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代をみつめて'19」を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。</p> <p>■配付部数 700部</p> <p>■内 容</p> <p>ア 名 称：北海道青少年育成大会 演 題：「つながりの牢獄 －青少年の人間関係をめぐる現状と課題－」 講 師：土井 隆義(筑波大学人文社会系教授)</p> <p>イ 名 称：青少年育成運動活性化研究協議会 演 題：「社会的ひきこもりを考える －本人・家族の気持ちと社会環境－」 講 師：阿部 幸弘 (精神科医・こころのリカバリー総合支援センター所長)</p> <p>ウ 名 称：平成30年度子供・若者育成支援のための地域連携推進事業(中央研修大会) 演 題：「若者を孤立させない支援の取組」 講 師：小宮 信夫(立正大学文学部社会学科教授)</p>	
3. 社会参加促進事業	<p>青少年の社会参加を促進するため、地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の中核的な担い手として成長することを促進するため「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施するとともに、青年の地域活動の活性化や地域間の交流・ネットワークづくりを促進するため「青年活動元気づくり実践セミナー」を開催した。</p>	
(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援(北海道青少年基金事業)	<p>北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。</p> <p>また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援 (北海道青少年基金事業)</p>	<p><u>①募金活動</u> 道職員や各関係団体への協力要請、新成人記念募金、施設や運用益交付事業実施時の募金箱の設置依頼、当協会実施行事等で募金の呼び掛けを行った。</p> <p>■基金造成実績 募金実績額：122万0,911円（予算額：130万円） 基金累計額：3億3,474万1,674円</p> <p><u>②運用益交付等事業</u></p> <p>■助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数 38団体（申請数：38団体） ・交付総額 285万円 <p>■顕彰事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の部 1団体（推薦数：1団体） 石狩リーダーサークル「shin you」（石狩市） 令和元年9月5日開催の「北海道青少年育成大会」にて、表彰状及び盾を贈呈した。 	
<p>(2) 北海道青年活動 元気づくりプロジェクト事業の推進</p>	<p><u>①「元気づくりプロジェクト」助成事業</u> 地域の青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。</p> <p>【交付青年団体グループ名・事業名】</p> <p>特定非営利活動法人 ezo rock</p> <p>■事業名：Hokkaido Youth Sessions GREEN DAY ■期 日：令和2年2月15日（土）～16日（日） ■場 所：ezo rock コミュニティスペース(札幌市) 市民活動プラザ星園 参加者：156名</p> <p>北海道学生研究会 SCAN</p> <p>■事業名：広域高大連携による地域振興の推進とあり方 ■期 日：令和元年12月7日（土）～8日（日） ■場 所：札幌大学(札幌市) ■参加者：158名</p> <p>北見市青年団体－NEXT－</p> <p>■事業名：ふれあいアニマルランド ■期 日：令和元年10月14日（月） ■場 所：サンドーム北見（北見市） ■参加者：2,358名</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(2) 北海道青年活動 元気づくりプロ ジェクト事業の 推進</p>	<p>②「<u>青年活動元気づくり実践セミナー</u>」の開催 地域活動を行う青年に対し、活動の活性化のための課題や今後の進め方などの実践的なノウハウを学ぶとともに、地域間の青年のネットワークづくりを促進するため、一般財団法人北海道青年会館と共催し、実践セミナーを開催した。</p> <p>■日時 令和元年7月6日(土)～7日(日)(2日間) ■会場 北海道青年会館(札幌市北6条西6丁目) ■対象 地域で活動している、又は活動を計画している者 (概ね20歳から40歳までの者)</p> <p>■参加者 14名 ■関係者(講師等) ・藤女子大学人間生活学部人間生活学科准教授 松田 剛史 (指導・助言者) ・北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 社会教育・読書推進グループ主査 一ノ関太郎</p> <p>■内 容</p> <p>1日目 (1)開会式、オリエンテーション (2)講演 演題：「SDGsで目指す持続可能な地域の未来づくり」 講師：藤女子大学人間生活学部人間生活学科 准教授 松田 剛史 (3)ワークショップ① (個人ワーク、グループディスカッション、企画検討など)</p> <p>2日目 (1)ワークショップ② (グループ企画協議、グループ発表、全体総括) (2)閉会式</p>	
<p>4. 国や中央団体等との連携</p>	<p>関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体が実施した事業に協力した。</p>	
<p>(1) 北海道・東北ブロック研修会、 中央研修大会、 青年リーダー研 修会の参加</p>	<p>①<u>北海道・東北ブロック研修会</u> ■日時 令和元年10月25日(金) ■場 所 東京エレクトロンホール宮城(宮城県) ■参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 7名</p> <p>②<u>中央研修大会</u> ■日時 令和元年11月25日(月)～26日(火) ■場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) ■参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 5名</p>	

事業名	事業の概要	備考
	<p>③青年リーダー研修会</p> <p>■日時 令和2年1月27日(月)～29日(水)</p> <p>■場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)</p> <p>■参加者 青年活動元気づくりプロジェクト団体 2名</p>	
(2)「少年の主張」全道大会	<p>北海道、国立青少年教育振興機構との共催により「少年の主張」全道大会を開催(書面開催)するとともに、作文内容を掲載した作品集を作成し、全道の中学校、市町村、関係機関等に配付したほか、ホームページ及び当協会機関誌に掲載した。</p> <p>(配付部数)「少年の主張」全道大会発表作品集 1,000部</p>	
(3)北海道児童館連絡協議会の事務局業務の受託	<p>道内の児童館で構成する北海道児童館連絡協議会の事務局業務を行った。</p> <p>(北海道児童館連絡協議会総会の開催)</p> <p>■日時 令和元年7月3日(水)</p> <p>■場所 かでる2・7 7階 750研修室</p>	
(4)「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力	<p>本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む意欲を向上させるため、次代の北海道を担う青少年育成協議会の構成機関として協力した。</p>	